



DOMスクリプティングの実践（4）

画像ポップアップ

ページ内に画像のサムネイルを並べ、クリックすると別ウィンドウで大きい画像を表示させるスクリプト。

サンプル1

window.open()を使用しスクリプトを実行します。

この手法は多くのWebサイトで使われています。

- JavaScript無効にしたブラウザでは、サムネイルをクリックしても何も起こらない
- ロボットから見て、無効なハイパーリンクとして正しく認識しない。
（検索エンジンは画像も検索対象とするのでSEOの観点からすれば正しくない。）
- 別ウィンドウは、バナー広告の氾濫によりポップアップを禁止にすることがデフォルトになっているOSやブラウザが多い。（設定で変更可能）

サンプル2

DOMスクリプティングで、別ウィンドウが開いたかのようなアクションのスクリプトを実現します。

グレイスフル・デグラデーションを実現します。

ポップアップウィンドウは、HTML内にid「picwin」で生成しウィンドウが開いているかのように見せます。

生成したポップアップウィンドウは、既存の要素の上に覆い被さるように表示されます。

関数処理は、class属性値「pic」がセットされたものが処理され、a要素にclickイベントリスナーをセットします。

生成されたポップアップウィンドウは以下のような要素になります。

```
<div id="picwin"></div>
```

表示されたポップアップウィンドウをクリックすると、closeImage関数が実行され、ポップアップウィンドウを削除し、元の状態に戻します。

次回の予定

12月21日（火曜日）最終課題「XHTML+CSS+JavaScript、完全分離のWebサイト」

12月21日（火曜日）をもちまして講習は終了です。